

ツヤハダゴマダラカミキリ（外来種）について

神戸市環境局環境都市課

2021年7月頃に市内・六甲アイランド内の港湾緑地・公園、街路樹等において、外来種であるツヤハダゴマダラカミキリの成虫が確認されました。毒性は無く、人体への被害は報告されていませんが、街路樹等を食害し、枯死させることがあります。特に、アキニレという樹木を好んで食害しています。

2021年9月以降、成虫は確認されておらず、卵・幼虫・蛹の状態です。樹木内で越冬することから、被害がみられたアキニレを冬期に伐採し、焼却処分する予定です。

1 生息地域

- (1) 自然分布：中国、朝鮮半島
 - (2) 海外移入分布：米国、オーストラリア、フランス、ドイツ、イタリア等
- ※ 形態は在来種のゴマダラカミキリに酷似している。

2 食樹

- ・カエデ属、トチノキ属、カバノキ属、ヤナギ属、ニレ属等

3 生態

- ・成虫は5～10月に出現（市内では7月上旬頃がピークと推定）
- ・メスは1匹あたり樹皮下に40～60個産卵。卵は2～3週間で孵化し、幼虫は樹木内を食害した後、材内で蛹化
- ・卵・幼虫・蛹で越冬する。成虫は越冬できない。

4 被害

- ・人体への被害は報告されていない。
- ・公園の樹木、街路樹等を食害する。枯死する場合がある。

5 国内の生息状況

- (1) 国内：未定着
 - ・2002年に横浜市で確認されたが、2004年までに防除
 - ・2021年に茨城県つくば市、福島県伊達市・福島市でも確認
 - (2) 本市
 - ・2021年に、六甲アイランド内の港湾緑地・公園、街路樹 等
- ※ いずれも、アキニレ（一部枯死）のみで確認された。



(問い合わせ先)

環境都市課生物多様性担当

電話: 078-595-6216

写真1（確認した成虫個体）



写真2（産卵痕。横一文字に噛み跡が見られる。）



写真3（脱出孔、大きさは直径10 mm程度。）

